

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド

ーイーグルアイIIー予想分配金提示型

日本円・コース／豪ドル・コース／ブラジル・リアル・コース／米ドル・コース／通貨セレクト・コース

ハリスの運用哲学と今後の米国株式市場の見通しについて

※当資料は、組入ファンドの運用会社であるハリス・アソシエイツ・エル・ピーのコメントを基に大和投資信託が作成したものです。

※各コースの総称を「通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド ーイーグルアイIIー予想分配金提示型」とします。

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

2018年1月30日

お伝えしたいポイント

- ・ 約30年ぶりとなる歴史的かつ抜本的な税制改革が実現
- ・ 今後の米国株式市場の見通し
- ・ ハリスの運用哲学と運用方針

約30年ぶりとなる歴史的かつ抜本的な税制改革が実現

2017年12月22日（現地）、トランプ大統領が税制改革法案に署名し、同法が成立しました。約30年ぶりとなる歴史的かつ抜本的な税制改革となります。

税制改革法案はトランプ大統領の公約の大きな柱の一つであり、企業業績や米国経済への支援材料になると考えられることから、2017年4月に税制改革の概要が発表された後、法案の実現性に投資家は注目してきました。

しかし、オバマケア代替案に関する審議が難航した影響などから税制改革に関する議論が遅れ、ようやく12月20日に統一化された最終税制改革法案が可決されました。

今後の米国株式市場の見通し

今回の税制改革によって、連邦法人税率が35%から21%に引き下げられることで、一株当たり利益の上昇に直結することが期待されるため、株式市場は好材料として捉えているようです。

また、海外利益の本国移転に課す税率の優遇は、租税回避のために米国外に移転していた企業の米国回帰や、多国籍企業の海外留保金を米国に還流させる効果が期待され、米国内における設備投資や研究開発を刺激する可能性があります。さらに、設備投資の即時償却が一層の設備投資を促す効果につながることも期待されます。

このように、今回の税制改革は法人税率の引き下げ効果だけでなく、米国マクロ経済を刺激する効果が米国株式の支援材料になる可能性があります。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212（営業日の9:00～17:00）HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

大和投資信託

Daiwa Asset Management

一方で、情報技術や製薬関連などの企業の中には、本社機能を低税率の国に移転して節税する仕組みを利用し、すでに低い実効税率を実現している企業があります。そのような企業が今回の税制改革の好影響を十分に享受することができない可能性や、そもそも大型減税が財政悪化懸念を生み、期待されるマクロ経済の好転が抑制されてしまう可能性もあります。また、大型減税の成立までの株価上昇で好材料の一部がすでに株価に織り込まれているとの見方も可能です。

このように今回の大型減税の効果は、個別企業の実効税率の水準や株価への織り込み度合い、企業の事業構造、収益源の地理的構成、競争状態、製品の価格競争力など、銘柄ごとに異なると考えられます。ハリスでは平均的な企業の場合、目先、大型減税の効果のわずか3分の1程度しか株主利益に還元されず、市場競争の結果、長期的にはこの効果もいずれ喪失されてしまうだろうと判断しています。しかし、ハリスが投資している銘柄はこのような平均的な企業ではありません。いずれも、高い価格競争力を有する強固な事業を展開する企業であり、これらは大型減税の好影響をより効率的に享受することが出来るものと考えています。

2017年12月末現在、「通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド ―イーグルアイⅡ― 予想分配金提示型」で投資中の銘柄では、チャーター・コミュニケーションズ、ブルーバッファロー・ペット・プロダクツ、ムーディーズ、ウェルズ・ファーゴ、シティグループなどがこうした企業に該当するとみられます。

ハリスの運用哲学と運用方針

ハリスでは投資先企業を取り巻く、さまざまな状況を総合的に勘案して、当該株式の本源的価値を計算しています。そうして、本源的価値を株価が30%以上下回っていると判断される場合のみ、当該株式への投資を実行していますので、好材料がすでに株価に織り込まれてしまった銘柄へ投資してしまうリスクを減らすことができると考えています。

このような運用手法は往々にして市場から評価を得ていない企業や業種を選好することにつながります。市場からの評価が低い銘柄を購入する際、その評価の乖離がいつ是正されるかは分からないものの、ハリスとしては、本源的価値に対して30%以上割安である限り（加えて、その本源的価値評価を定期的にモニタリングしつつ）、忍耐強く待ちます。株価と本源的価値の差が縮小するまでに時間を要することもあります。ハリスとしては、長期的に良好なパフォーマンスを達成していくことに主眼を置き、この運用スタイルを継続していきます。

2017年12月末現在において、ポートフォリオでは21銘柄に厳選投資しています。本源的価値に対して株価が著しく割安に放置されている銘柄に投資するという投資哲学に変更はありません。また、ハリスでは投資対象の本源的価値を常に見直しています。

ポートフォリオについては、ウェブ広告市場の拡大の恩恵を受けることが期待される情報関連銘柄や、個人向け金融事業で利益成長が期待される銀行などに注目してまいります。

基準価額の推移

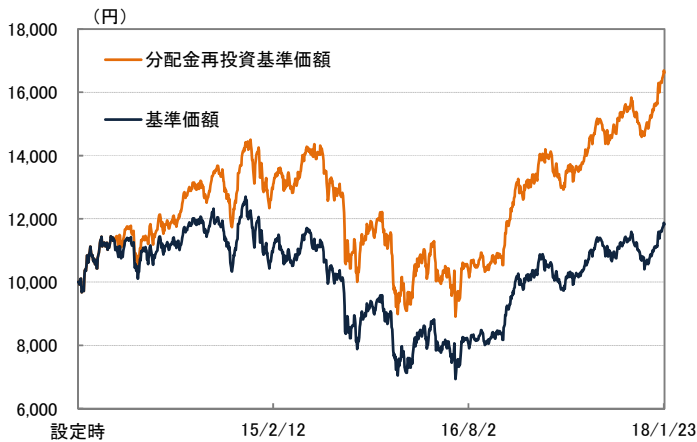
<日本円・コース>

(当初設定日(2013年8月20日)～2018年1月24日)



<豪ドル・コース>

(当初設定日(2013年8月20日)～2018年1月24日)



<ブラジル・リアル・コース>

(当初設定日(2013年8月20日)～2018年1月24日)



<米ドル・コース>

(当初設定日(2013年8月20日)～2018年1月24日)



<通貨セレクト・コース>

(当初設定日(2013年8月20日)～2018年1月24日)



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

以上

収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

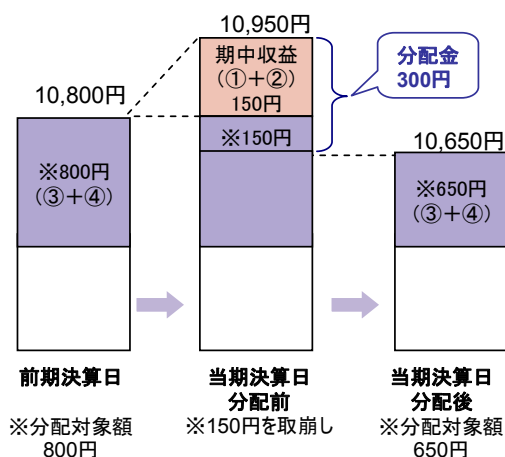
投資信託の純資産

分配金

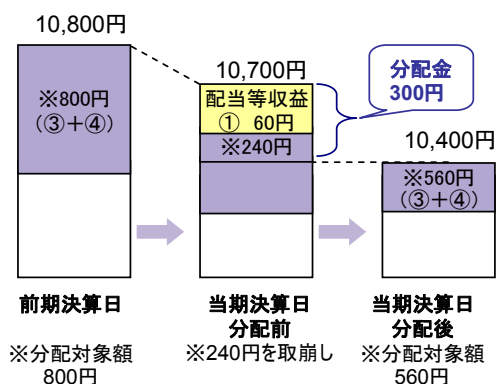
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



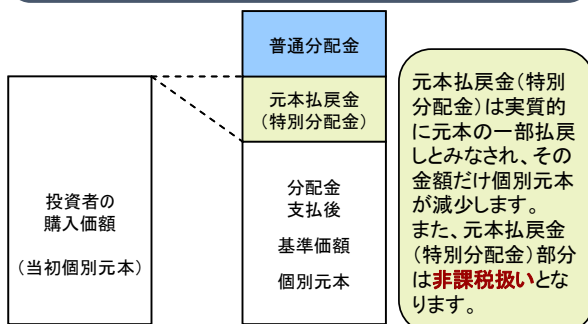
前期決算日から基準価額が下落した場合



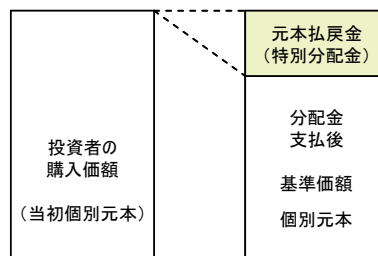
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



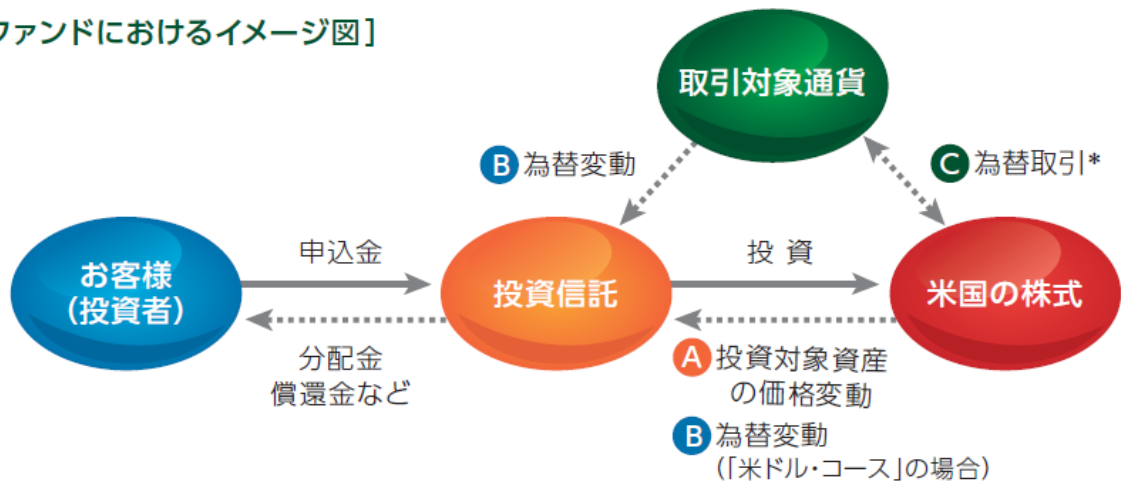
普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金 : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

通貨選択型ファンドの収益のイメージ

◆通貨選択型の投資信託は、株式や債券などといった投資対象資産に加えて、為替取引の対象となる円以外の通貨も選択することができるよう設計された投資信託です。

[当ファンドにおけるイメージ図]



*取引対象通貨が円以外の場合には、当該取引対象通貨の対円での為替リスクが発生することに留意が必要です。

◆当ファンドの収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。これらの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。

	A	B	(注) C
収益の源泉	米国の株式の配当、 値上がり／値下がり	為替差益／差損	為替取引による プレミアム／コスト (金利差相当分の収益／費用)
収益を得られる ケース	株価の上昇、配当収入	為替差益の発生	取引対象 通貨の 短期金利 > 米ドルの 短期金利 プレミアム (金利差相当分の収益) の発生
損失や コストが 発生する ケース	株価の下落 ・発行企業の経営不安、 倒産等	為替差損の発生 ・円に対して取引対象 通貨安 ・円に対して米ドル安 (「米ドル・コース」の場合) ※「日本円・コース」を 除きます。	コスト (金利差相当分の費用) の発生 取引対象 通貨の 短期金利 < 米ドルの 短期金利 ※「米ドル・コース」を 除きます。

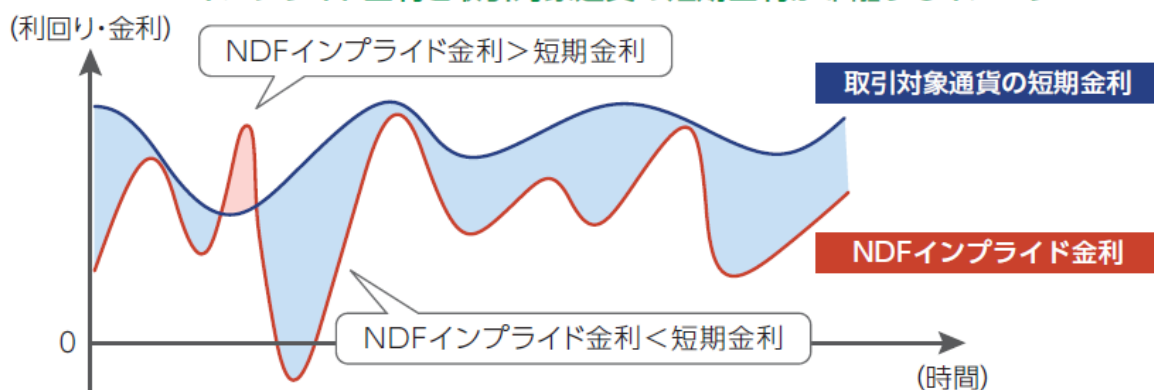
(注) 取引対象通貨が新興国通貨の場合、為替取引を行なう際にNDF取引を利用することがあります。NDF取引を用いて為替取引を行なう際、プレミアム／コストは、需給や規制等の影響により、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※上記はイメージであり、実際の投資成果を示唆、保証するものではありません。

NDF取引とは

- ◆ 取引対象通貨を用いた受け渡しは行わず、米ドル等の主要通貨による差金決済を相対で行なう取引です。
- ◆ NDF取引価格から算出される“NDFインプライド金利”は、市場の流動性が低く、割高や割安を是正する動き(裁定)が働きにくいことから、市場参加者の期待や需給などの要因により、**取引対象通貨の短期金利の水準から大きく乖離する場合があります。**

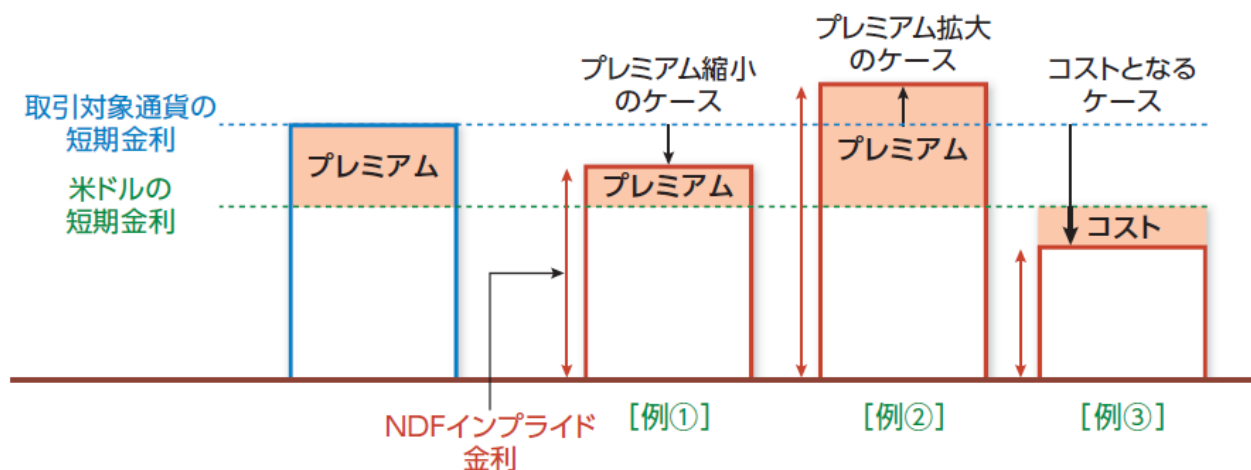
NDFインプライド金利と取引対象通貨の短期金利が乖離するイメージ



※上記はイメージであり、当ファンドのパフォーマンスとは異なります。

NDFインプライド金利の変動の影響

- ◆ 市場参加者の通貨上昇(下落)期待や需給などにより、NDFインプライド金利は低く(高く)なる可能性があります。NDFインプライド金利が取引対象通貨の短期金利より低く(高く)なると、**為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)**が縮小【例①】(拡大【例②】)し、場合によっては**為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)**となるケース【例③】もあります。



※上記はイメージであり、実際のプレミアム／コストとは異なります。

※上記は投資成果を示唆、保証するものではありません。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド ーイーグルアイIIー予想分配金提示型

日本円・コース／豪ドル・コース／ブラジル・リアル・コース／米ドル・コース／通貨セレクト・コース

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資します。

※DR（預託証券）を含みます。



割安な銘柄へ投資します。

① 株主および経営者の視点から本源的価値を算出

- ◆対象企業の企業価値がいくらになるかを、フリーキャッシュフローなどに着目し独自に算出
- ◆「質の高い」魅力的なビジネスを行なっているかを検討
- ◆実地調査を含む詳細な対象企業の分析を必ず実施

② 本源的価値から著しく割安と判断される銘柄に投資

※本源的価値とは、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーが独自に評価した企業本来の価値をいいます。



約20銘柄を厳選し、集中投資します。

〔株式の運用について〕

- ◆株式の運用は、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーが行ないます。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド
ーイーグルアイIIー 予想分配金提示型

日本円・コース／豪ドル・コース／ブラジル・リアル・コース／米ドル・コース／通貨セレクト・コース

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

2. 為替取引を活用します。
- ◆当ファンドには次の5つのコースがあり、「米ドル・コース」を除き、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／対象通貨買いの為替取引を行ないます。

コース名	為替取引の内容	取引対象通貨
 日本円・コース	米ドル建ての資産に対して 米ドル売り／日本円買い	日本円
 豪ドル・コース	米ドル建ての資産に対して 米ドル売り／豪ドル買い	豪ドル
 ブラジル・リアル・コース	米ドル建ての資産に対して 米ドル売り／ブラジル・リアル買い	ブラジル・リアル
 米ドル・コース	_____	_____
 通貨セレクト・コース	米ドル建ての資産に対して 米ドル売り／選定通貨買い	選定通貨

- ※5つのコースの間でスイッチング(乗換え)を行なうことができます。
- ◆「米ドル・コース」以外の各コースでは、為替取引を行なうことにより、「為替取引」によるプレミアム(金利差相当分の収益)／コスト(金利差相当分の費用)」が生じます。
 - ◆「日本円・コース」、「米ドル・コース」以外の各コースでは、為替取引の対象通貨の対円レートの上昇(円安)／下落(円高)により、為替差益／為替差損が生じます。
 - ◆「米ドル・コース」では、米ドルの対円レートの上昇(円安)／下落(円高)により、為替差益／為替差損が生じます。
 - ◆「日本円・コース」では、為替変動リスクの低減を図ります。
ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。
 - ◆「通貨セレクト・コース」において、選定通貨とは、以下の[通貨の運用方針]により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。
また、大和証券投資信託委託株式会社が投資顧問会社として通貨の選定および配分比率を決定します。

[通貨の運用方針]

- 原則として、「シティ世界国債インデックス」および「JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケットズ ブロード」の構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。
※上記指数構成国の通貨以外の通貨を選定する場合があります。
- 選定通貨の投資比率は、金利水準、リスク水準等を考慮して決定します。
- 選定通貨および投資比率は、原則、毎月見直します。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド
ーイーグルアイⅡー 予想分配金提示型

日本円・コース／豪ドル・コース／ブラジル・リアル・コース／米ドル・コース／通貨セレクト・コース

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

3. 毎年2、5、8、11月の各28日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、基準価額に応じた分配金の支払いをめざします。
※基準価額は1万口当たりとし、既払分配金を加算しません。

●計算期末の前営業日の基準価額に応じ、下記の金額の分配をめざします。

計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、下記の分配を行わないことがあります。

計算期末の前営業日の基準価額	分配金額(1万口当たり、税引前)
10,500円未満	配当収入等相当分(経費控除後) ^(注)
10,500円以上11,000円未満	300円
11,000円以上11,500円未満	350円
11,500円以上12,000円未満	400円
12,000円以上12,500円未満	450円
12,500円以上	500円

(注) 主要投資対象とする外国投資信託における配当収入相当分から、投資者が実質的に負担する運用管理費用を控除した額に、為替取引によるプレミアム／コスト(金利差相当分の収益／費用)を勘案した額をいいます。
※米ドル・コースは「為替取引によるプレミアム／コスト」が生じません。

※基準価額に応じて、四半期ごとの分配金額は変動します。基準価額が上記の一定の水準に一度でも到達すればその水準に応じた分配を続ける、というものではありません。
※分配により基準価額は下落します。このため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。

※分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
※ファンドの基準価額は変動します。投資元本、利回りが保証されているものではありません。

4. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
◆外国投資信託の受益証券を通じて、米国の株式に投資します。

◆以下、各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。

ファンドの名称	略称
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド ーイーグルアイⅡー 予想分配金提示型 日本円・コース	日本円・コース
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド ーイーグルアイⅡー 予想分配金提示型 豪ドル・コース	豪ドル・コース
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド ーイーグルアイⅡー 予想分配金提示型 ブラジル・リアル・コース	ブラジル・リアル・コース
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド ーイーグルアイⅡー 予想分配金提示型 米ドル・コース	米ドル・コース
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド ーイーグルアイⅡー 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース	通貨セレクト・コース

◆上記の総称を「通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド ーイーグルアイⅡー 予想分配金提示型」とします。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド ーイーグルアイIIー 予想分配金提示型

日本円・コース／豪ドル・コース／ブラジル・レアル・コース／米ドル・コース／通貨セレクト・コース

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

投資リスク

●当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「集中投資のリスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※一銘柄当たりの組入比率が高くなる場合があります。

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

[日本円・コース]

- ・為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。
- ・日本円の金利が米ドルの金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

[豪ドル・コース、ブラジル・レアル・コース、通貨セレクト・コース]

- ・取引対象通貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。新興国通貨の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国通貨と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。
- ・投資対象資産の通貨である米ドルの為替変動リスクを完全に排除することはできませんので、基準価額は円に対する米ドルの為替変動の影響を受ける場合があります。また、取引対象通貨の金利が米ドルの金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

[米ドル・コース]

- ・組入外貨建資産について、米ドルが円に対して米ドル安の方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

※NDF 取引を用いて為替取引を行なう場合、コストは需給や規制等の影響により、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド
ーイーグルアイー 予想分配金提示型

日本円・コース／豪ドル・コース／ブラジル・リアル・コース／米ドル・コース／通貨セレクト・コース

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 <上限> 3.24%（税抜3.0%） スイッチング（乗換え）による購入時の申込手数料については、販売会社にお問合わせください。	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用（信託報酬）	年率 1.215%（税抜 1.125%）	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする投資信託証券	「日本円・コース」、 「豪ドル・コース」、 「ブラジル・リアル・コース」 年率 0.69%程度 「米ドル・コース」 年率 0.65%程度 「通貨セレクト・コース」 年率 0.81%程度	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する運用管理費用	「日本円・コース」、「豪ドル・コース」、「ブラジル・リアル・コース」 年率 1.905%（税込）程度 （純資産総額によっては上回る場合があります。） 「米ドル・コース」 年率 1.865%（税込）程度 （純資産総額によっては上回る場合があります。） 「通貨セレクト・コース」 年率 2.025%（税込）程度 （純資産総額によっては上回る場合があります。） ※ただし、この他に「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン」に対して、固定報酬として年額 13,500 米ドルがかかります。また、監査費用、弁護士費用、有価証券売買委託手数料等、投資対象ファンドの運営に必要な各種経費がかかります。	
その他の費用・手数料	（注）	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

（注）「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。
※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

販売会社:

大和証券

Daiwa Securities

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等

大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

商号等

大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第352号

加入協会

日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

加入協会

一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会